

保険者を訪ねて

“水の郷” 体の中もキレイに 嘉島町



《 嘉島町の概要 》

人 口	9,524 人
国保被保険者数	1,896 人
後期高齢者数	1,357 人
世 帯 数	3,651 世帯
	国保世帯数 1,134 世帯
医療機関等数	医科 14 機関
	歯科 6 機関
	調剤薬局 6 薬局

(令和元年6月末現在)

担 当 課		
町民課	職 員	非常勤職員等
保健係	6 人	4 人
税務課	職 員	非常勤職員等
課税係	5 人	1 人
徴収係	2 人	-

嘉島町は、熊本市の南側に隣接しており、面積は 16.65 平方キロメートルです。

熊本平野に属し平坦な水田地帯で、東地区の一部に標高 20～30 メートルの丘陵地帯があります。矢形川・御船川・緑川・加勢川の各河川に囲まれ、町東部には清冽な清水をたたえる浮島をはじめとした湧水地が点在する一大湧水群を形成しています。

近年は、ビール・清涼飲料工場や大型ショッピングセンター等の企業が立地し、九州縦貫自動車道御船インターチェンジに近いなど交通の利便性もよく、人口も増加しています。

様子
インタビューの



町民課の職員



嘉島町役場

嘉島町の国保被保険者数は人口の約20%、65歳以上の高齢化率は人口の約26.5%とどちらも県平均より低く、逆に39歳以下の年齢層の割合は約43%と県平均より高いため、若い現役世代が多くなっています。

今回は、保険者努力支援制度^{※1}の県内順位が26位（平成30年度）から2位（平成31年度）まで大幅にアップした嘉島町国保の取り組み（特定健診・特定保健指導、重症化予防を含む保健事業等）を中心にお話を伺いました。

※1 保険者努力支援制度とは、医療費適正化に向けた取り組み等、努力を行う保険者に対し財政的支援を行うため、特定健康診査の実施率や保険料（税）の収納率向上等、保険者の取り組み状況や実績に応じて国から支援金が交付される制度です。

	平成31年度 保険者努力支援制度(市町村分)獲得点数												合計 (体制構築加 点除く)	得点率 (体制構築加 点除く)	県内 順位	★参考 平成30 年度県内 順位
	共通1	共通2	共通3	共通4	共通5	共通6	固有1	固有2	固有3	固有4	固有5	固有6				
	・特定健診 メタボ ・特定保健 指導	がん・歯 周疾患健 診	重症化予 防	・個人情 報医提イ セン テイ ブ	重複投 薬	・後発 使用医 割薬合 品促 進の 取 組	収 納 率	デ ー タ ヘル ス 計 画	医 療 費 通 知	地 域 包 括 ケ ア	第 三 者 求 償	適 正 か つ 健 全 な 取 組				
	(150点)	(55点)	(100点)	(90点)	(50点)	(135点)	(100点)	(50点)	(25点)	(25点)	(40点)	(60点)	(880点)			
全国平均	43.0	27.6	85.0	66.4	39.9	60.6	39.5	44.8	23.0	13.2	28.5	37.2	509.1			
県平均	58.2	31.4	100.0	53.1	46.7	75.6	46.1	50.0	25.0	15.0	29.3	37.1	567.5	64.5%		
嘉島町	85.0	35.0	100.0	90.0	50.0	65.0	95.0	50.0	25.0	25.0	38.0	45.0	703.0	79.9%	2	26

医療費適正化へ向けた取り組み

嘉島町では、医療費適正化の取り組みとして、「特定健診受診率と特定保健指導実施率の向上」、「キレイ血管プロジェクト」の実施、「重症化予防に重点を置いた保健指導」、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及促進」等を行っています。

～特定健診受診率と特定保健指導実施率の向上～

嘉島町では、特定健診の受診方法として①嘉島町保健センターで行う集団健診、②がん検診もセットで受診できる「かしまドック※²（人間ドック）」の2つがあります。被保険者に受診していただくため、毎年4月に特定健診申込通知を世帯毎に送付し、特定健診の申し込みを募っており、平成30年度の受診件数は、①462件、②339件でした。

※² かしまドックの検査内容等

検診名	対象者	内容	個人の負担	実施場所	検診の実施期間
かしまドック	嘉島町国保加入の 満40歳以上75歳未満の方 (S19.8.27～ S55.3.31)	特定健診（計測・診察・血液検査・尿検査など）	男性 7,000円 女性 9,000円	日赤熊本 健康管理センター	2019年7月～10月 の指定された日
		+			

特定健診未受診者に対しては、再度、受診勧奨通知を送付し、秋に実施する特定健診を受診していただけるよう環境を整えています。また、未受診者への個別訪問においては、町民と顔の見える関係を心がけて、相談しやすい環境づくりに努めています。

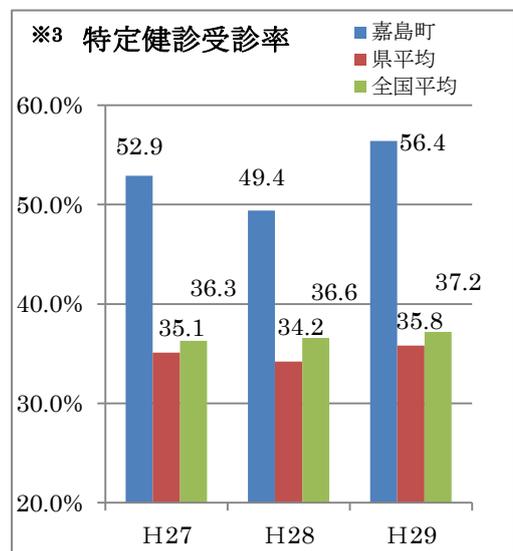
また、町内にかかりつけ医がいる方については、被保険者同意のもと、嘉島町が医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用できる取り組みを平成29年度から始め、平成30年度の実績は15件でした。

このような取り組みから、嘉島町の特定健診受診率※³は、平成29年度は56.4%でした。

この他にも、30歳から39歳までの被保険者を対象とした特定健診と同等の健診も実施しています。

さらに、今年度は“60代の方”や“糖尿病治療中（HbA1c6.5以上）の方”にターゲットを絞り受診勧奨を手厚く行う予定です。

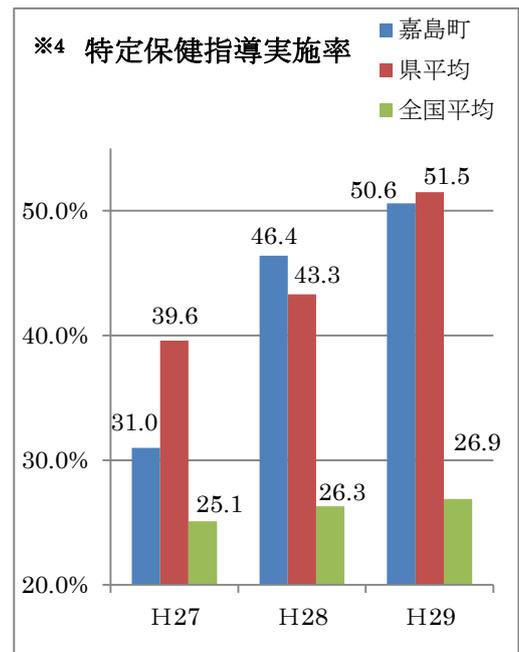
これからも、被保険者が自身の健康への関心を高めることができるよう、また、特定健診を受診していただけるように健康管理に関するPR方法等について課を挙げて検討し、国が示す目標値60%を目指します。



嘉島町はメタボリックシンドロームの該当者が多いため、特定保健指導は大変重要なものであると考えています。

特定保健指導については、集団健診を受診され、特定保健指導の該当者であった場合は、健診機関か町のどちらかで受けていただくように案内しています。さらに、町が設けている基準に該当する一部の方に「キレイ血管プロジェクト」へご案内しています（次頁参照）。

また、かしまドックを受診された場合は、健診当日に特定保健指導を実施していますが、当日に保健指導を受けることができない方もいらっしゃるため、後日、町から直接連絡をとり、特定保健指導を行うなど、特定保健指導実施率^{※4}向上を目指しています。



健診の案内方法・健診実施スケジュール	
4月	対象者全員への健診案内及び申込書の送付及び広報（町広報誌掲載）
6月	健診申込みのなかった方への受診勧奨（個別通知）
7月	健診に関する広報（町広報誌掲載）
7～10月	かしまドック実施
8月	集団健診実施
9月	健診未受診者へ再度受診勧奨（個別通知、電話等）
11月	集団健診実施
随時	医療機関からの検査データの提供依頼

～“キレイ血管プロジェクト”の実施～

嘉島町は、特定健診の結果からメタボリックシンドローム(以下「メタボ」という。)該当者が多く、メタボが重症化することによってリスクが高まる心疾患・脳血管疾患などを併発する方も多い状況です。

この状況から、平成27年度からの継続事業として、生活習慣の改善を目的に、特定保健指導対象者を含むメタボ該当者30名程度を対象とした“キレイ血管プロジェクト”を熊本回生会病院(併設の運動施設:メディフィット回生会)と連携して実施しています。

本プロジェクトでは、初回検査として、腹部CTで内臓脂肪面積の確認や自身の体組成を確認していただき、専門職(運動指導士、理学療法士、管理栄養士)と共に自身の健康改善目標を立てていただきます。

目標設定後は、自身のペースでメディフィット回生会に3か月間(週2~3回以上)通所していただき、この3か月の間に運動や食生活の改善に向け取り組んでいただきます。

専門職によるアドバイスがあることから安心して、自身に合う運動方法や具体的な食事の改善方法について指導を受けられます。

3か月後、中間評価を行います。中間評価を受けて、これまで取り組んだ運動や食生活の改善方法を見直し、今後、どのように取り組むか決めていただきます。

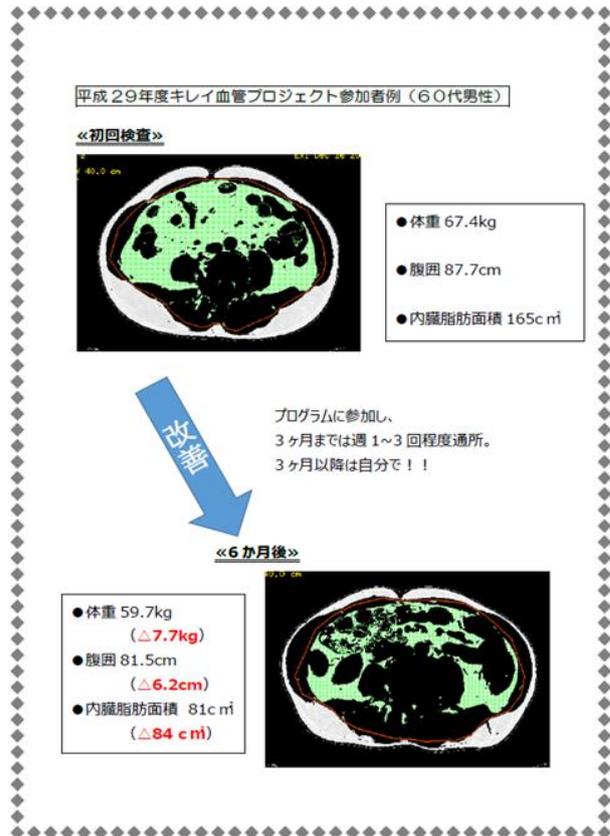
6か月後、最終評価として、半年間自分の頑張った成果を確認できる検査(血液検査、血圧測定、腹囲、腹部CTなど)を受けていただきます。

半年間で本プロジェクトは終了となりますが、6か月以降も、引き続き運動や食生活の改善に取り組んでいただき、次年度の特定健診を受診していただきたいと考えています。

実際に、平成30年度は15名に参加いただき、これまでの参加者の中には内臓脂肪が半分に減る^{※5}などの結果が表れた方もおり、参加者に大変好評です。

この“キレイ血管プロジェクト”の魅力は、専門職による直接指導です。また、医療と連携したプロジェクトであるため、持病をお持ちの方なども安心・安全に参加いただけます。

今後も、生活習慣の改善の一助となるよう、また、参加者から「プロジェクトに参加してよかった」などの声をいただけるよう取り組んでいきたいと思っております。



※5 プロジェクト参加者の改善例(上図)

事業の流れとしては、以下のとおり。

<p>開 始</p>	<p>◀ 初回検査 ▶ <u>町負担（無料）</u> 一緒にがんばる期 ⇒ 運動指導、栄養指導 ※ 週 2～3 回以上通所</p>	<p>★初回の検査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹部 CT ・体組成確認
<p>3 か 月</p>	<p>◀ 一旦、通所は終了：中間評価 ▶</p> <p>自分でがんばる期①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き通所（自費） ・自己流で 	
<p>6 か 月</p>	<p>◀ 最終評価の検査 ▶ <u>町負担（無料）</u></p> <p>自分でがんばる期②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き通所（自費） ・自己流で 	<p>★最終評価の検査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液検査 ・血圧測定 ・腹囲 ・腹部 CT ・体組成確認
<p>1 年 後</p>	<p>◀ 次年度健診 ▶ 健診結果を再度確認</p>	

◎ 初回検査から3か月通所までは参加者の自己負担はありません。



参加者の様子

～重症化予防に重点を置いた保健指導～

嘉島町の脳血管疾患の入院1件当たりの費用額は県内1位（平成28年度、30年度）であり、脳血管疾患による死亡割合も上昇していることから、脳血管疾患への対策が課題となっています。

そこで、脳血管疾患のリスクとなる生活習慣病の重症化を防ぐため、健診結果から、血圧・血糖（HbA1c）・中性脂肪・LDL-C（悪玉コレステロール）の高値者や腎機能低下者を抽出し、平成30年度は、対象者の8割以上の方へ保健師や栄養士が、訪問や個別面談による保健指導を実施しました。

保健指導では、健診結果一覧表を活用し、それぞれの項目の値や、経年変化を確認していただき、対象者本人が自分の身体の状態を自覚できるような対応を心がけるとともに、生活習慣の改善や、毎年の健診受診の行動につながることを目指しています。

また、糖尿病治療中ではあるが、血糖コントロールが難しい方については、医療機関からの情報提供により栄養指導を実施する事例が出てきました。まだまだ、本町からの積極的なアプローチはできていないのですが、この事例から、医療機関との連携方法について学び、医療機関と本町の双方からアプローチを行うことで、対象者の良好な血糖コントロールにつなげていけたらと考えています。

～ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及促進～

嘉島町では、被保険者証一斉更新時（毎年8月1日）に、ジェネリック医薬品希望が印字された「被保険者証ケース※6」を同封しています。

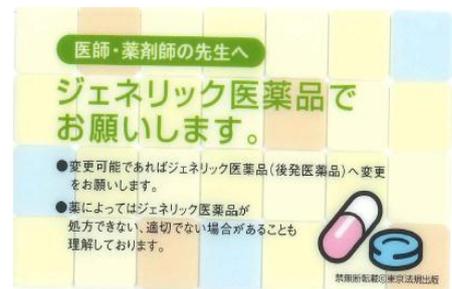
この他にも、年に2回（8月と2月）「ジェネリック医薬品差額通知」を発送するとともに、広報誌などを活用した啓発も行っています。

また、年度途中で国保へ加入される方など、国保の窓口で被保険者証をお渡しする場合は、ジェネリック医薬品の説明を行い、ジェネリック医薬品について理解・納得いただいた上で、被保険者証と「被保険者証ケース」をお渡ししています。

ジェネリック医薬品を希望されない方も一定数いることから、本町では“透明の被保険者証ケース”を用意しており、窓口での交換ができるようにしております。

本町のジェネリック医薬品の数量シェアは、平成28年度67.7%、平成29年度73.0%、平成30年度76.6%と年々上昇しています。

今後も引き続き、国が示す数量シェア目標値の80.0%を達成できるよう、医療機関と連携を図りながらジェネリック医薬品の普及促進に取り組んでいきます。



※6 被保険者証ケース

保険税収納率向上のための取り組み

国民健康保険税の現年分収納率は、平成 27 年度 94.22%、平成 28 年度 94.11%、平成 29 年度 96.16%と上昇傾向にあります。その要因としては、「近隣自治体との併任徴収・他課との連携」が大きいと考えています。今後も、職員一同、力を合わせて収納率向上のために業務に励みます。

～近隣自治体との併任徴収・他課との連携～

嘉島町、御船町、甲佐町、山都町の上益城郡 4 町と美里町を合わせた 5 町で、税の収納率向上と滞納整理強化を図るため、町の枠を超えた広域での併任徴収に取り組んでいます。他町と連携することで、1 町だけでは難しい家宅搜索も可能となっています。

また、滞納者の中で生活が困窮していることなど、事情がある場合には、福祉部局など他課との連携を行い、生活相談を勧め、完納を目指した話し合いを随時行っています。

その他にも、滞納者へ文書による催告を年 3 回（5 月・8 月・12 月）実施し、毎月第 4 水曜日には、夜 8 時まで税に関する相談も行っています。

今後も着実に継続した取り組みを行い、収納率向上を目指しています。

(%)

	現年度	過年度
平成 29 年度	96.16	38.57
平成 28 年度	94.11	23.44
平成 27 年度	94.22	29.64



国保制度周知や健康増進を目的としたイベント等

～ジョイフルスポーツかしま～

嘉島町では、毎年11月に、町民の健康増進と親睦を図ることを目的として、嘉島町総合運動公園などで、町体育協会と共催のもと、「ジョイフルスポーツかしま」を開催しています。

大縄跳びや綱引き、20人リレーなど、各地区挙げて熱い戦いを楽しく繰り広げるなど、老若男女が楽しめる内容になっています。平成30年度で44回目を迎えた伝統の駅伝では、6地区が覇を競いました。

また、血圧測定や、握力測定、高齢者疑似体験などの健康チェックコーナーや健康相談・栄養相談コーナーも設けて、健康に関する普及啓発も行っています。



ジョイフルスポーツかしまのご案内

まちの見どころ



浮島神社

平成の名水百選に選ばれている「浮島熊野坐神社」です。この神社は湧水池の中にあり、水上に浮かんだように見えることから、別名「浮島神社」と呼ばれています。

イザナギ・イザナミの夫婦神が御祭神として祀られており、縁結びや安産のご利益だけでなく、自転車や釣りのお守りなど独特のお守りも購入できることで有名です。

また、浮島神社と池を挟んだ対岸には、くまもと名水百選のひとつでもある水の郷「浮島周辺水辺公園」があり、コイ、フナ、ウナギ等の魚類も多く、年中釣り客が絶えません。

冬はカモなどの水鳥が飛来するなど、町内外よりたくさんの人々が訪れる人気の観光地となっています。

特産の大豆をふんだんに使用した珍しい大豆焼酎「嘉島」です。大豆の旨みと甘みが凝縮され、癖のないやわらかな口当たりです。
大豆を原料とした焼酎は全国でも珍しく、また、地域限定販売の希少さから、ご贈答用にも喜ばれています。



大豆焼酎「嘉島」